

世界史 B 確認テスト 3 教科書 P124～125

- 1 ローマ帝国の皇帝で、313年にキリスト教を初めて公認した皇帝は誰か。
- 2 1の皇帝が、キリスト教の公認を布告した勅令は何か
- 3 1の皇帝が、「正統なキリスト教」を1つに決めるために開催した会議は何か。
- 4 3の会議で「正統なキリスト教」と認められた宗派は何か。
- 5 3の会議で「異端（誤ったキリスト教）」とされ、追放された宗派は何か。
- 6 5の宗派が追放されたのち、自分たちの教えを広めた相手は何か。
- 7 「五本山」のうち、最有力だった二つの教会はどこどこか。
- 8 ローマ教会の指導者は、自らを何と名乗るようになったか。
- 9 726年に「聖像禁止令」を公布したビザンツ皇帝は誰か。
- 10 教皇に領土を寄進した、カロリング朝初代のフランク国王は誰か。
- 11 寄進によって成立した、教皇が支配する地域を何と呼ぶか。

小テスト3 解答

- 1 コンスタンティヌス帝
- 2 ミラノ勅令
- 3 ニケーア公会議
- 4 アタナシウス派（アタナシウスは当時カリスマ的なキリスト教理論家。崇拝者多数）
- 5 アリウス派
- 6 ゲルマン人（最初はひどい目にあったんだろうな・・・生贄とかにされてそう）
- 7 ローマ教会 コンスタンティノーブル教会
- 8 教皇（昔は「法王」と言っていました。日本でも近年「教皇」というようになりました）
- 9 レオン3世（レオンは「ライオン」の意味です）
- 10 ピピン
- 11 教皇領